

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 46 週分・11 月 10 日～11 月 16 日)

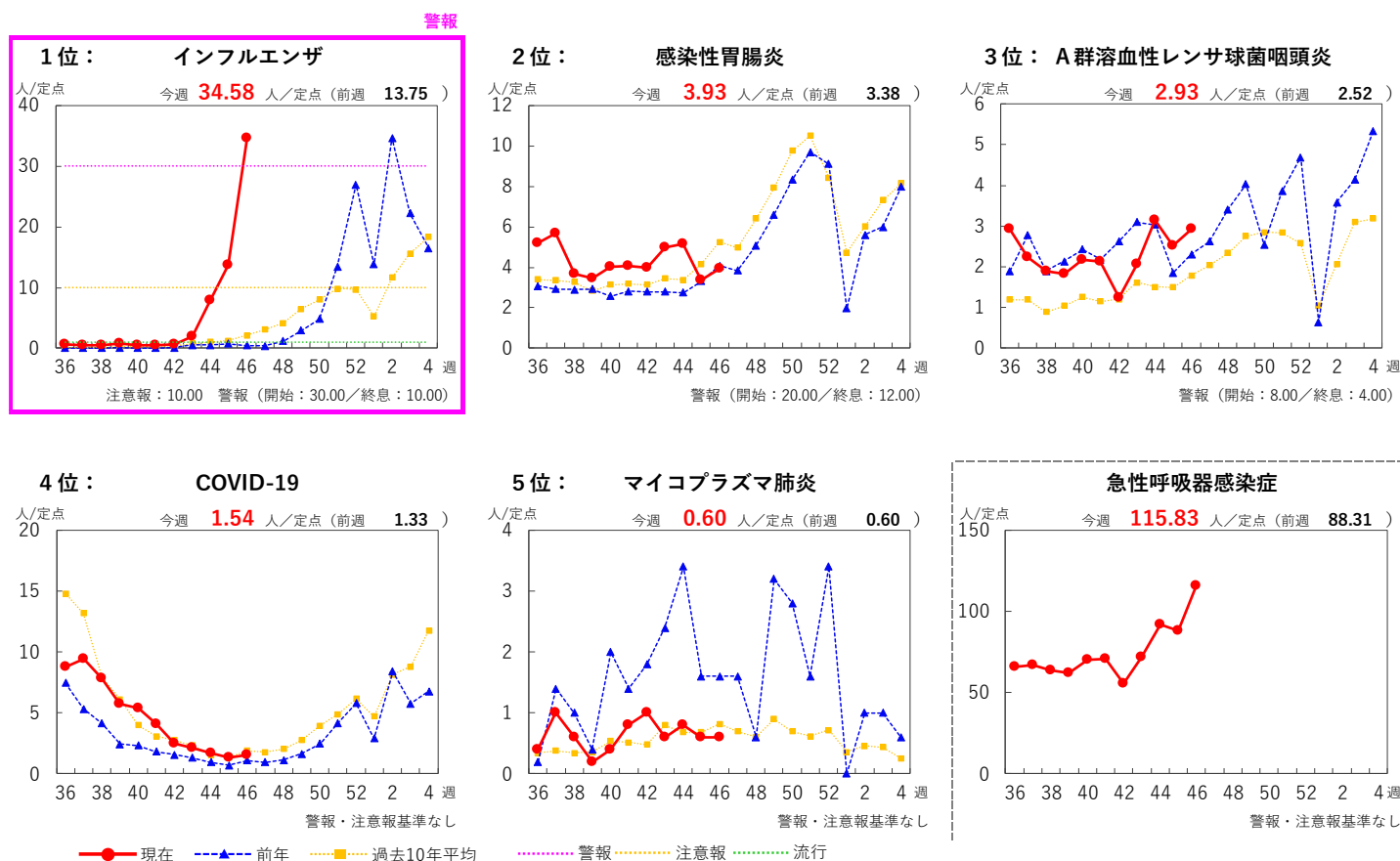
■今週の主な動向

○インフルエンザの患者報告数が警報開始基準を超えました。

県内の患者報告数は今週 34.58 人/定点となり、警報レベルの開始基準である 30.0 人/定点を超えました(11 月 19 日報道発表参照)。第 46 週のインフルエンザ様症状による学級閉鎖等の報告数は、40 件(幼稚園 1 件、小学校 25 件、中学校 12 件、高等学校 2 件)となっています(富山県インフルエンザ関連情報)。患者は 15 歳未満の小児が中心ですが、全年齢層で増加傾向であり、今後さらなる感染拡大が懸念されます。感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (11/16)

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 1 件（80 歳代、女性）

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件（①30 歳代、女性 ②80 歳代、男性）

梅毒 2 件（①40 歳代、男性、無症候 ②40 歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期）

百日咳 1 件（10 歳未満、女性）

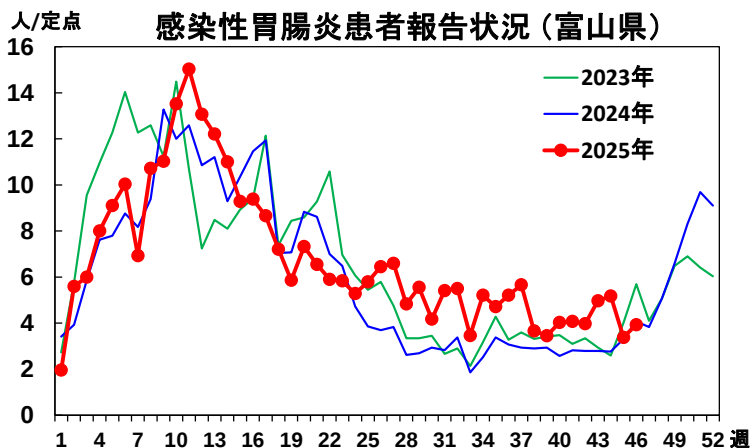


感染予防を徹底しよう！ 感染性胃腸炎

《 インフォメーション 》

● 感染性胃腸炎

2025 年第 46 週の県内定点医療機関（小児科）からの感染性胃腸炎報告数は 3.93 人/定点となり、先週の 3.38 人/定点よりも増加しました（図）。感染性胃腸炎は例年冬季に患者報告数が増加する傾向があるため、今後の感染拡大に注意が必要です。



感染性胃腸炎の原因はウイルス（ノロウイルス、サポウイルス等）によるものが多く、ノロウイルスは、小児では主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃感染によって広がります。ウイルスに感染後 1～2 日で、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等の症状を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはなく、治療は対症療法が中心となります。また、ノロウイルスは症状の消失後も数週間ほど糞便から排出され続けます。感染拡大を防ぐために、症状消失後も引き続き、手洗いなど感染予防を徹底しましょう。ノロウイルスは感染力が強い上に、アルコール消毒が効きません。そのため、汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります（[厚生労働省、ノロウイルスに関するQ&A](#)）。

ノロウイルス食中毒の多くは、調理従事者が食品を汚染したことが原因となっています。調理従事者は手洗いを徹底するとともに、食品に直接触れる際には「使い捨て手袋」を着用しましょう。

次のことに注意してノロウイルスによる感染を予防しましょう。

- 食事の前やトイレの後などには、手を洗う。
- 床等に飛び散った糞便や吐物を処理する際は、マスク・手袋・エプロンを着用したうえで、ペーパータオル等で拭き取った後に、塩素系消毒剤（0.02%次亜塩素酸ナトリウム）を用いる。
 - ◇ 塩素系消毒剤（0.02%）の作り方
 - ペットボトル 2L の容器に市販の塩素系漂白剤（原液濃度約 5%）をペットボトルのキャップ 2 杯分を入れ、水を加えて全体を 2L にする。
 - （保管する場合は誤飲しないよう消毒液と明記し、直射日光を避けて冷暗所で保管しましょう）
- 加熱が必要な食品は、しっかり加熱（中心部が 85～90℃で 90 秒以上）して食べる。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第46週 2025年11月10日～2025年11月16日）

分類		疾患	今週報告分（第46週）					累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）							
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			1			1	6	2	19	13	43	83	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	5	1	12	7	29	54	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	7	3	4	17	
	四類感染症	E型肝炎									5		1	6	
		A型肝炎									1	1		1	3
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1			1
		デング熱										1			1
		レジオネラ症								1	1	3	3	17	25
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1	1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3		9	13	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1	3	4	10	
		侵襲性肺炎球菌感染症					2	2	5		8	4	21	38	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒					2	2	5	1	8	4	31	49	
		百日咳				1		1	29	143	147	45	276	640	
		風しん											1		1
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	473	463	1,996	425	2,203	5,560	9,722	8,792	33,640	8,042	41,746	101,942		
		67.57	92.60	153.54	60.71	137.69	115.83								
	インフルエンザ	128	89	550	105	788	1,660	1,177	1,026	2,701	1,168	3,255	9,327		
		18.29	17.80	42.31	15.00	49.25	34.58								
	COVID-19	29	9	14	9	13	74	1,671	698	1,905	1,449	1,796	7,519		
小児科定点（29定点）		4.14	1.80	1.08	1.29	0.81	1.54								
	R Sウイルス感染症	2	1	8		2	13	70	59	355	58	398	940		
		0.50	0.33	1.00		0.20	0.45								
	咽頭結膜熱	1		6		3	10	80	43	323	6	112	564		
		0.25		0.75		0.30	0.34								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	15	39	7	22	85	165	276	1,695	218	2,287	4,641		
		0.50	5.00	4.88	1.75	2.20	2.93								
	感染性胃腸炎	29	11	12	2	60	114	1,232	731	1,532	551	4,922	8,968		
		7.25	3.67	1.50	0.50	6.00	3.93								
	水痘	1	1	5			7	11	93	68	26	301	499		
		0.25	0.33	0.63			0.24								
	手足口病							4	8	60	17	70	159		
	伝染性紅斑		1	2	1	2	6	140	329	775	161	1,236	2,641		
			0.33	0.25	0.25	0.20	0.21								
	突発性発しん	1		3	1	1	6	13	27	127	34	156	357		
		0.25		0.38	0.25	0.10	0.21								
	ヘルパンギーナ							30	54	290	62	226	662		
流行性耳下腺炎			1		2	3	3	12	9	9	30	63			
			0.13		0.20	0.10									
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100		
基幹定点（5定点）	流行性角結膜炎	1					1	9	19	30	26	3	87		
		1.00					0.14								
	細菌性髄膜炎										1	1	2		
											1	1	2		
	無菌性髄膜炎														
入院サーベイランス（5定点）	マイコプラズマ肺炎	1			1	1	3	28	9	39	36	15	127		
		1.00			1.00	1.00	0.60								
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）		2	1		15	18		2	5	2	22	31		
	COVID-19による入院患者	3		1	1	7	12	130	112	101	153	311	807		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

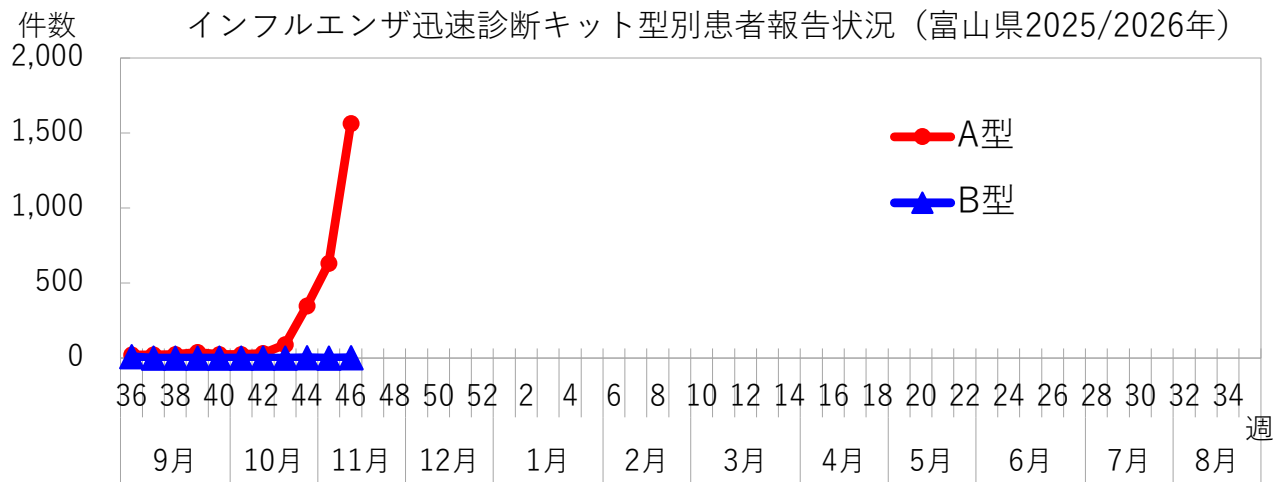
現在、下の表によると、A型が94.2%となっています。

第46週（11/10～11/16）：富山県 34.58人/定点（単位：件）

厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	112	0	16	128
中部	4 / 5	84	1	4	89
高岡	13 / 13	508	0	42	550
砺波	7 / 7	102	1	2	105
富山市	15 / 16	757	0	31	788
富山県	46 / 48※1	1,563	2	95	1,660
富山県累計（2025年36週～）		2,813	15	158	2,986

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が46か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



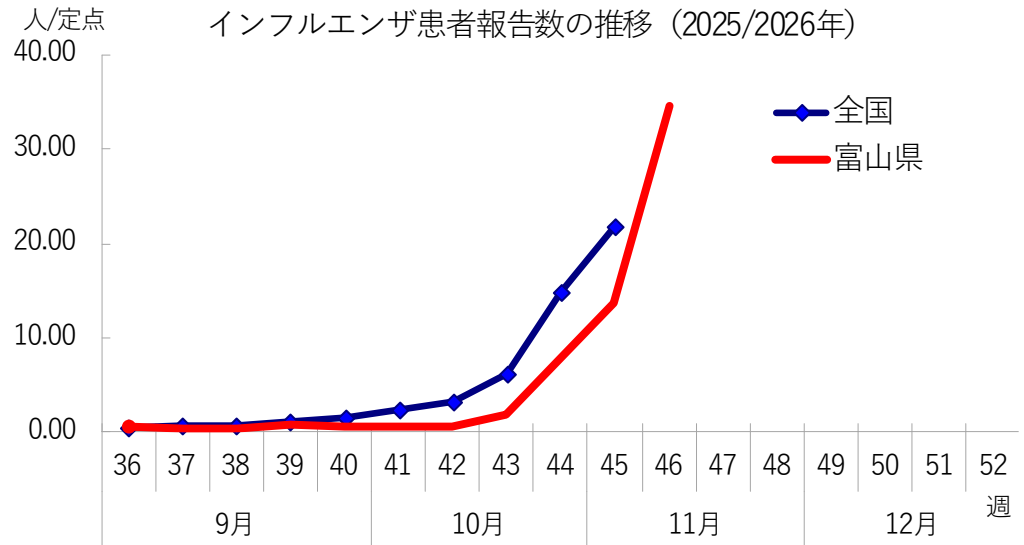
インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 46 週（11/10～11/16）

富山県 34.58 人/定点 [新川 (18.29)、中部 (17.80)、高岡 (42.31)、砺波 (15.00)、富山市 (49.25)]

県内の患者報告者数は、今
週 34.58 人/定点となり、警報
レベルの開始基準である 30.0
人/定点を超えました。

インフルエンザ患者報告数の推移（2025/2026年）

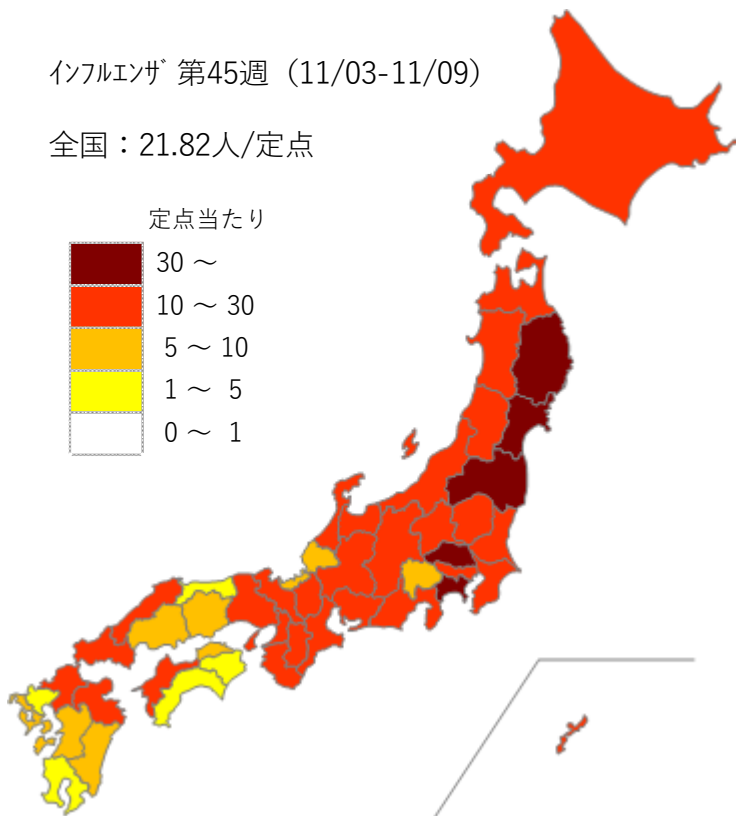
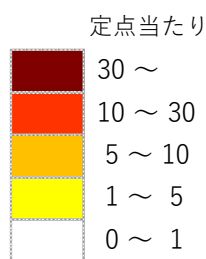


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 45 週（11/3～11/9）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 21.82 人となり、前週の 14.90 人より増加しました。46 都道府県で前週より増加しています。1 県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第45週（11/03-11/09）

全国：21.82人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	28.20 ↑	滋賀県	11.12 ↑
青森県	12.50 ↑	京都府	20.87 ↑
岩手県	30.24 ↑	大阪府	19.74 ↑
宮城県	47.11 ↑	兵庫県	25.30 ↑
秋田県	27.68 ↑	奈良県	19.14 ↑
山形県	26.36 ↑	和歌山県	16.13 ↑
福島県	34.63 ↑	鳥取県	4.38 ↑
茨城県	22.90 ↑	島根県	12.05 ↑
栃木県	25.06 ↑	岡山県	9.86 ↑
群馬県	19.02 ↑	広島県	9.27 ↑
埼玉県	45.78 ↑	山口県	13.70 ↑
千葉県	29.95 ↑	徳島県	4.79 ↑
東京都	29.03 ↑	香川県	7.03 ↑
神奈川県	36.57 ↑	愛媛県	20.30 ↑
新潟県	11.20 ↑	高知県	3.13 ↑
富山県	13.75 ↑	福岡県	12.80 ↑
石川県	19.43 ↑	佐賀県	4.92 ↑
福井県	9.67 ↑	長崎県	9.22 ↑
山梨県	9.09 ↑	熊本県	8.13 ↑
長野県	11.51 ↑	大分県	17.16 ↑
岐阜県	13.58 ↑	宮崎県	5.39 ↑
静岡県	14.65 ↑	鹿児島県	4.02 ↑
愛知県	19.60 ↑	沖縄県	23.44 ↓
三重県	18.00 ↑	全国	21.82 ↑

